

盛夏期のチンゲンサイは「ニイハオ・メイ」！
総合的な品種能力でオススメします！

ニイハオ・メイ

チンゲンサイ

磐田市は、静岡県の西部に位置し、南北に長い形をしています。サッカーリーグのジュビロ磐田のホームタウンとしても有名です。温暖で比較的作物の栽培しやすい地域であり、露地、施設ともに多品目の野菜を作付けしております。チンゲンサイのほかネギ、エビイモなどで、全国でも有名な野菜産地です。



【栽培概要】

播種:2020年7月8日(220穴セルトレイ)

定植:2020年7月23日(株間15cm、条間15cm白黒マルチ)

収穫:2020年8月21日



「ニイハオ・メイ」収穫物 (写真左上、下)
暑さのため、葉柄はそれほど
充実しなかったが、重量が出た。



写真左 JA遠州中央 営農事業部 織田様
同中央 生産者：伊藤初雄様
同 右 稲吉種苗株式会社 営業部長 鈴木様

【評価】

- 苗は非常にガッチリ育ち、酷暑期でも徒長しにくい。
- 時期的に葉柄はそれほど太くならないが、他品種と比べると株重が出る。
- 葉のカッピングが少なく、厳しい条件下ではチップバーンが発生する場合もあるが、総合的に優れた品種である。

【栽培のポイント】

- 定植後の活着を確認した後は、初期生育をやや抑制気味に管理することにより、草姿が整う。遮光資材を適切に利用し、じっくりと育てることで、生理障害を防ぎ、ずっしりとしたチンゲンサイに仕上げる。

